

令和4年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	三次市立十日市中学校	校長	角濱 慶司	生徒指導主事	竹本 秀樹
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名	『体育大会色別会（異年齢交流）』
-------	------------------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	2	「主体性・協調性」	1	「自己理解、実践的な集団活動」	3

取組のねらい
--------

取組の狙いとして次の3点が挙げられる。1点目は、上級生から下級生に体育大会での目標や思いを伝えることで、上級生の自己有用感を高めること。2点目は初めて行う1年生の不安を取り除き上級生との関わりの中で安心した学校生活を送ることができること。3点目は縦のつながりを通して学校の伝統や文化を継承していくことである。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『感染症対策を行いながらの工夫を凝らした実践』
----------	------------------------------------

○生徒会を中心として実施。(会の運営等)  
司会原稿等細かく考え、感染症対策を講じながら全校生徒がスムーズに動けるように創意工夫した。



○3色（青、橙、黄）の団長・副団長を中心に「決意表明」「団の目標」を伝える。  
○それぞれの色別で応援合戦の説明をさせて、練習を行わせる。  
○今年度からラジオ体操が得点化され、各団で練習を実施した。



※事前に団長・副団長・応援団が集まり色別会の流れの確認、目標の設定や並び等も生徒で考え本番を迎えた。

※決意表明では感染症対策をしっかりと行いながらも各団長の思いが伝わるようそれぞれが工夫（並びや間隔）を凝らして実施した。

※ラジオ体操に関して、最初に生徒会からルールや評価の説明、正しいラジオ体操の実演を行うことによって、各団長が説明等を行いやすいように考えた。(生徒による自主性)

取組の成果と課題
----------

体育大会の色別会を通して狙いには迫ることができた。さらに、文化祭や全校での総合的な学習等に色別を生かした異年齢交流（自主学习ノート交流等）などの取り組みへとつながりをもたせることができた。特に上級生の自己有用感や下級生の不安感の取り除きができ、協調性や自主性の向上につながった。アンケート（生徒が学校の主人公になっている）の肯定的評価は71.9%と高い数字となった。